

平成 28 年 6 月 30 日

関係各位

NPO 法人ホスピタル・プレイ協会
すべての子どもの遊びと支援を考える会
理事長 松平 千佳

ホスピタル・プレイによる在宅支援システムの構築に関する研究協力をお願い

謹啓 夏至の候、いよいよご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、当法人では、武田製薬からの助成を受け、『ホスピタル・プレイによる在宅支援システムの構築』に取り組むこととなりました。在宅で生活する子どもたちのニーズを医療の面だけではなく、子どものウェルビーイングとしての視点から把握し、社会に発信するための調査や研究ができればと考えています。

研究を進めるために、2つのことを依頼したいと考えています。1つ目は、私たちホスピタル・プレイ・スペシャリストによる訪問活動の受け入れです。遊びは、すべての子どもにとって権利であり、発達に欠かすことのできない活動です。しかし、それだけではなく、子どもが人として豊かに生きるために必要な、精神性を高める活動でもあると考えています。よって、遊びを通して子どもとつながる、あるいはつなげるために働きかけを行いたいと考えています。平成 28 年 8 月から平成 29 年 4 月までに月 1~2 回程度（1 回につき 1 時間 30 分程度、子どもの様子や体調等を考慮し時間の変更があります）の訪問活動を計画しております。

2つ目の依頼は、ご家族の思いを聞き取らせていただきたいという事です。医療的ケアが必要な子どもとの生活の中で、何が課題なのか理解を深め、発信したいと考えています。

助成事業の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

《本件に関するお問合せ先》

NPO 法人ホスピタル・プレイ協会
すべての子どもの遊びと支援を考える会
電話/FAX : 054-202-2652
Mail : info@hps-japan.net
担当 : 南 伸予